

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6階

TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 北村 憲正

<http://www.computernews.com/marketview>

24.6%のインターネットユーザーが ブロードバンド接続を利用

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長奥田喜久男)は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会、ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックピーカン、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)562店舗(2001年4月1日現在)の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長・奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研の調べによると、家庭でのインターネット接続でブロードバンド環境を実現しているユーザーがすでに24.6%に達していることがわかった。昨年末から急速に加入者が増えているADSLや、ケーブルテレビの普及が大きく影響し、ブロードバンド環境に対するニーズは確実に高まっている。

BCN総研がホームページ上で行ったアンケート調査(調査期間:5月10日~14日、有効回答数:686人)によると、家庭でのインターネット接続環境では、ISDN接続(フレッツISDNを含む)が44.1%を占め、主流となっているが、CATVやADSLを使いブロードバンド環境を整えているユーザーが24.6%もいることが明らかになった。ブロードバンドユーザーの利用回線の内訳は、ケーブルテレビが16.2%、ADSLが5.8%、専用線が2.6%となっている(図1)。このブロードバンドユーザーの73.8%がパソコン歴5年以上のベテランユーザーとなっており、先進ユーザーを中心にブロードバンド環境が普及しはじめていることは明らかだ。この先進的なユーザーは、LANにも関心が高く、ブロードバンドユーザーの42.0%が家庭でLAN環境を構築している(図2)。また、ブロードバンドユーザー以外でも家庭内LANに対する注目度は高く、家庭内LAN未構築ユーザーの60.7%がLAN構築に興味を示している。

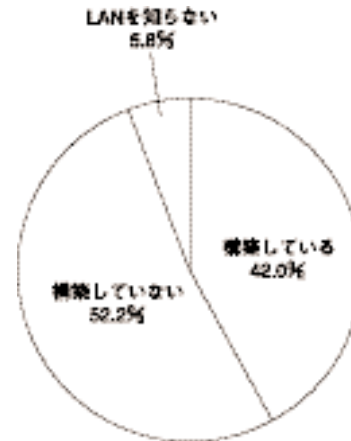
ブロードバンドの普及や家庭内LANのニーズの高まりで、ルーターの販売も伸びている。現在のルーターの売れ筋トップはメルコのブロードバンド対応無線ルーター「AirStation(WLS-L11S-L)である。今年2月の発売後、好調に推移し、3月(12.2%)、4月(11.4%)と首位を獲得している。ブロードバンド対応と無線という特色が人気の要因となっているが、こうした製品の登場が相乗効果を生み、ブロードバンドや家庭内LANの普及を後押ししている可能性は高い。

図1 インターネット接続方法



(ユーザーアンケート)

図2 家庭内LANの構築



(ユーザーアンケート)

* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。北村までご連絡下さい (kitamura@bcn.co.jp)。